

「水循環予測」セッションの (勝手な)まとめ

- どの時間スケールにおいても、
 1. 予測精度を向上するという側面
 2. 予測結果(なぜ当たったか、外れたかを含め)を理解するという側面があり、両方重要(2は1へフィードバック)。
- 同じ自然、ひと繋がりの時間を見ている
⇒少なくとも日～季節⇒気候(温暖化)の
方向の研究協力は可能だし重要。
 1. モデルの改良を通じて
 2. 予測結果の理解を通じて